

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 6月18日 (月)

2 確認箇所

- ・ 2号機タービン建屋1階
- ・ 2号機復水貯蔵タンク

3 確認項目

2号機復水貯蔵タンク内に貯留しているタービン建屋内滞留水の移送時の漏洩防止対策の状況

4 確認結果の概要

東京電力は、1～3号機の原子炉注水設備の水源を3号機の復水貯蔵タンクのみで運用しているが、そのタンクが使用できなくなった場合に備え、2号機の復水貯蔵タンクも使用し、水源の多重化を図ることとしている。

そのため、内面点検をする必要があり、現在、タンクに貯留しているタービン建屋内滞留水を2号機タービン建屋地下階へ移送していることから、移送時の漏洩防止対策状況を確認した。

- ・ 2号機復水貯蔵タンクからの移送時に用いるホースは、二重構造になっており、フランジ部は袋養生され、受けパンが設置されていた。(写真1)
- ・ 2号機タービン建屋地下階へ移送する際に用いる仮設弁についても、上記同様の対策がとられていた。(写真2)
- ・ 東京電力によると、移送中は30分おきにパトロールしており、ホース等から水漏れがないかを監視しているとのことであった。
- ・ また、移送作業は7月頃に完了し、8月末にかけて2号機復水貯蔵タンクの内面点検を行うとのことであった。



(写真1)



(写真2)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。